

# 宮島の自然と歴史・文化を体験するエコツアー

## 宮島の裏側に行ったことがありますか？

下記よりご都合のよい日をお選び下さい。

①2017年8月19日(土曜日)

②2017年9月 9日(土曜日)

■集合場所 元宇品口(広電宇品線)

■集合時間 9:00

■募集定員 先着10名

■参加費 大人 ¥5,000-

子供 ¥3,000-

※今回のエコツアーは、平成29年度生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム地域活性化支援事業)事業の一環として、運営しております。

・応募人数が6人に満たない場合は中止します。  
 ・雨天等の悪天候の場合は翌日に延期します。  
 ・昼食は準備致します。  
 ・当日は動きやすい格好でご参加ください。  
 ※飛行機、列車等の費用は含んでおりません。  
 詳細は、別途ご相談下さい。

### ◆◆◆スケジュール◆◆◆

- 9:00 元宇品口(広電宇品線)集合
- 9:15 元宇品口(広電宇品線)出発
- 10:00-11:00 船により七浦めぐりをしながら腰細浦へ移動
- 11:00-12:00 腰細浦にて潮間帯生物の観察
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-13:30 青海苔浦へ移動
- 13:30-15:00 青海苔浦にてトレッキング・スケッチ(汽水域生物・植物観察)
- 15:00-16:00 七浦めぐりをしながら大鳥居へ移動
- 16:00-16:40 大鳥居の前で記念撮影
- 16:40-17:00 元宇品口(広電宇品線)到着
- 17:00 解散

※天候等により変更する場合があります。



# 宮島の自然と歴史・文化を体験するエコツアー



## 七浦めぐり



### 第一拝所・杉之浦神社

ご祭神は底津少童命(そこつわたつみのみこと)。七浦めぐりの無事達成と参拝者の安全祈願をします。参拝者全員が着船し、「茅(ち)の輪(わ)くぐり」の儀式をおこないます。

杉之浦には「世界文化遺産貢献の森林」があります。厳島神社社殿の屋根(桧皮葺)の葺き替えに必要となるヒノキの樹皮を供給しようと設けられたものです。



### 第二拝所・鷹ノ巣浦神社

ご祭神は底筒男命(そこつつのおのみこと)。七浦めぐりでは、海上からの参拝になります。

鷹ノ巣浦に造営されましたが、1898(明治31)年、鷹ノ巣砲台建設のため入浜に遷御となりました。明治時代中期の日清戦争時は広島に大本営、呉に海軍鎮守府が設置されるなどし、鷹ノ巣浦は敵艦船の航路となりうる場所でした。



### 第三拝所・腰少浦神社

ご祭神は中津少童命(なかつわたつみのみこと)。七浦めぐりでは、海上からの参拝になります。

海浜は東西方向に長さ約85m、幅約50mの砂浜で、腰少浦神社は高さ1.8mの石垣に造営されています。



### 第四拝所・青海苔浦神社

ご祭神は中筒男命(なかつつのおのみこと)。七浦めぐりでは、参拝者全員が着船し、「茅の輪くぐり」の儀式をおこない参拝して安全祈願をします。

青海苔浦は、青海苔川の河口で、この川を遡ると陶晴賢が厳島合戦に敗れて自刃した高安ヶ原があります。さらに登り尾根を越すと多々良瀨に通じています。



### 第五拝所・山白浜神社

ご祭神は表津少童命(うわつわたつみのみこと)。七浦めぐりでは、海上からの参拝になります。

ここだけ「浜」というのは、小高い丘の上に造営されているためです。巨石で埋まっています。



### 第六拝所・須屋浦神社

ご祭神は上筒男命(うわつつのおのみこと)。七浦めぐりでは、参拝者全員が着船し、「茅の輪くぐり」の儀式をおこない参拝して安全祈願をします。

須屋浦神社周辺は濃い緑の照葉樹に囲まれ、ここには「須屋清水」があったといわれます。また浜辺には砂洲が形成され、ハマゴウなどの塩生植物が見られます。



### 第七拝所・御床神社

ご祭神は市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)・田心姫命(たごりひめのみこと)・湍津姫命(たぎつひめのみこと)。七浦めぐりでは、海上からの参拝になります。

伝説では、佐伯鞍職が厳島神社を造営するまでこの場所に仮の御殿を造り、姫神様にご辛抱いただいたと伝えられます。社殿が建てられている大きく平らな岩台には亀裂があり、この模様から厳島神社の御神紋が考案されたといわれています。

宮島は、小さな岬と入江の組み合わせた形をしています。白い砂浜は、河川からの砂の搬出や岬の海食によってつくられる花崗岩の風化物から形成されています。入江にできた砂浜や、礫浜などを「浦」と呼びます。宮島では、弥山山塊を含む全島を神域とし、自然が保全されてきたこともあり、門前町の集落を除けば浦の地形が自然のまま維持されています。代表的な7つの浦にはエビス社がまつられており、今回のエコツアーでは船を使い普段簡単には行くことができない浦地形を楽しみながら七浦エビスを参拝する「七浦めぐり」と、腰細浦での潮間帯生物の観察と青海苔浦での汽水域の生物観察や植物観察を行う予定としております。

## 腰細浦



腰細浦の砂浜は、北西の腰細山(226.4m)から流れ出る川と、腰細山の南西にのびる尾根から流れ出る川が運び出す砂でつくられています。厳島海峡に流れ出る川は一般に引き潮の影響が強く、出口で南西側に押しやられることが多いのですが、腰細浦に流れ出る川は逆の東側に曲がって流出しています。浜の東側に小山(27.3m)があり、引き潮の力が緩和されるためと考えられます。

海浜は東西方向に長さ約85m、幅約50mです。

## 青海苔浦



青海苔浦は、宮島町に水を供給している全長3km余りの青海苔川と繋がっています。青海苔川は下流で、西に青海苔山(282.28m)、東に老主山(191.3m)の両山に囲まれており、この周辺から少し南東に流路を変え、青海苔浦に流入しています。砂州の発達により、川の出口は南の山麓に押し寄せられています。砂州の長さは約113mで、幅は七浦めぐり第四拝所・青海苔浦神社のところで約65mです。

また、青海苔浦の背後の谷は小さく、海浜の砂浜は沿岸潮流により形成されたものと見られます。

青海苔海岸の南西端には、波食の跡を残す岩が1.5mほど突き出しています。川底から3mもあり、以前に海面が少し高かったのではないかと考えられています。

青海苔浦には、ハクセンシオマネキやアラムシロガイなどが生息しています。

出典:『宮島本(宮島検定)』廿日市商工会議所、第三版2014

<b>旅行企画・実施</b> 観光庁長官登録旅行業第1666号 国際航空運送協会公認代理店 一般社団法人日本旅行業協会 正会員 <b>ひろでん中国新聞旅行</b> 本社 / 〒730-0021 広島市中区胡町3番19号 (中国ビル)		本社営業部 広島市中区胡町3-19 総合旅行取扱管理者: 下本 武 電話: 082-543-2102, F A X: 082-543-2019 担当: 杉原・三原 <営業時間> 平日 9:30~17:30 土曜日 10:00~17:00 ※日祝休業	(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会 事務局 担当: 富田・藤元 〒734-0013 広島県広島市南区出島1-11-14 TEL: 082-259-3371 FAX: 082-259-3372 E-mail: Setouchi.Eco.Tour@gmail.com
<b>旅行条件</b> ※お申し込みの際には、必ず旅行条件書(全文)をお受け取りください。			
<small>●募集型企画旅行契約(1)この旅行は、ひろでん中国新聞旅行(広島市中区胡町3番19号 中国ビル)観光庁長官登録旅行業第1666号、以下「当社」といいます。)が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行条件は下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、最終旅行日程表と称する確定書面及び当社旅行契約の部によります。 ●お申込み方法と契約の成立時期:当社所定のお問い合わせに所定の事項を記入し、申込金又は旅行代金全額を添えてお申し込みください。申込金は旅行代金のお支払いの照らし合わせていただきます。電話、郵便、ファクシミリ、インターネットその他の通信手段によるお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して5日以内に申込書の提出と申込金の支払いをしていただきます。旅行契約は、当社が予約の承諾を申込書と申込金を受領したときに成立します。</small>			